

一組総支部
野球大会決勝戦開催
11月27日(金)
12時集合13時試合開始

東京清掃労働組合

一組総支部通信

一組総支部
事務局 執行委員長
岡沢 徹
一組本庁支部内
fax6238-0504
tel6238-0502
e-mail 編集
seisou-ichkumi 教宣部長
@w7.dion.ne.jp 福田雄一



区政会館14階に座り込み行動

東京清掃本部の仲間と共に、港工場 千歳工場 全面委託に反対する要請集会を実施!

東京清掃全支部
一組総支部



座り込み抗議要請貫徹

11月18日、東京区政会館に於いて、東京清掃本部と一組総支部、組合員全体で157名が参加し、民間委託反対撤回を求め署名を提出し、要請行動が実施された。

はじめに、14F通路に座り込み集会を開始。挨拶し立った一組総支部岡沢委員長は、これ以上の委託を認めるわけにはいかない。委託した職場での事故例を取り上げ、団結で機嫌返すよう訴えた。一組総支部若田書記長は、アウトソーシングありきの一組支部を追及し、職場死亡事故等の例を上げ、災害

をなくして安全、安定な工場の確立を、皆で築いていこうと経過と報告を行った。清掃本部西川委員長は、委託攻撃は、東京清掃全体に関わる問題として、清掃本部各支部の参加を促した。続いて一組総支部内山會計より、シブプレヒコールが読み上げられ、全員で繰り返し唱和した。清掃本部本部を擁護し、清

9月18日の清掃工場運転管理業務委託提案に対して、10月2日、私たちは非常に問題の多い工場運転業務の委託化に対し、撤回を強く求めました。東京清掃労働組合としても賃金確定闘争と、併せて主要課題として取り組み、23特別区各々に区長宛の「清掃工場の新たな委託化の撤回を求めて要請行動を実施してきたところ。多くの区において、も真剣に聞いてもらうこともできました。

なく日本の旧来からの技術・技能をも根底から破壊し始めました。その結果、日本は「先進国から後進国への後戻りを始めた」と指摘されるまでになってきています。この間のむやみな委託化により、一組も技術・技能が破壊されるという同じ道を歩んでいると言わざ

「現場」での気付きや知恵を企業戦略や経営に積極的に取り入れようという傾向が強まっている。この考え方は民間企業だけでなく、公共サービスにも当てはまる。アウトソーシングや公務員ハッシングによって疲

「併却不適物かこればかりか」のような生活をしているのか。「お年寄りや住民に何か異変がおきたのではなか」なごみ出しの方向で、見当がつかず、区では住民のかゆいところに手が届くようふたふたの作業が私たちの力によって展開できているのです。

一組支部がいうコスト削減や民間活力導入を区長や一組職員に説明するならば、現実に委託業者によっておきた死亡事故や一組職員がベテラン職員の流失により、訓練センターを設立しなければならなかった経緯を正しく区長や住民に説明するべきです。

職員や委託業者と共同作業をしかねないベテラン設備管理職員の頭を抱え込んでいます。委託業者は、委託の4年間間は委託工場にとって安全で安定的な工場操業を継続できたといいたがたいのです。いままで委託した工場の実態を真摯に検証検討するならば新たな委託はできないはず。私たちは、安全で安心な清掃工場を作ることに、二度と死亡事故を起こす工場が出ない清掃行政を築き上げたいと強く求め、ここに東京清掃労働者及び家族並びに区に働く労働者の1万筆を越える「清掃工場の民間委託撤回を求める署名」を提出します。

連帯の挨拶と経過報告



一組総支部 岡沢委員長



東京清掃本部 西川委員長



一組総支部 若田書記長

第二は、委託により安全で安定的な運営が出来たのでしょうか?委託前の直営業務では工場に対する愛社精神みたいなものがありました。不具合があれば状況判断をして最善の方法を模索し、自ら改善していった実績とプライドがありました。一方、委託では、利益をあげなければならぬ組織ですから、2億8千万円という多額の請負金額にもかかわらず運転管理仕様書

職員や委託業者と共同作業をしかねないベテラン設備管理職員の頭を抱え込んでいます。委託業者は、委託の4年間間は委託工場にとって安全で安定的な工場操業を継続できたといいたがたいのです。いままで委託した工場の実態を真摯に検証検討するならば新たな委託はできないはず。私たちは、安全で安心な清掃工場を作ることに、二度と死亡事故を起こす工場が出ない清掃行政を築き上げたいと強く求め、ここに東京清掃労働者及び家族並びに区に働く労働者の1万筆を越える「清掃工場の民間委託撤回を求める署名」を提出します。

とすることを、職員定数削減・効率的運営を掲げ、提案して来ました。私たちがこの3年間、委託された工場の当事者として、本場に経営改革プランで示してきた安全で安定的な運営が果たして実行出来たのか疑問であり、ここに反論すると共に、今回の提案の凍結を求めるものです。一年半前、私たち北工場は運転管理等の業務を東京エコーサービスに委託され、今年4月には運転の全面委託が強行されました。その結果、北工場がどうなったかを検証し、運転管理等の業務委託について見直すよう訴えたいと思っております。第一には、人道的には

どうでしょうか、ほとんど委託前後では変わらないこと。第二は、委託により安全で安定的な運営が出来たのでしょうか?委託前の直営業務では工場に対する愛社精神みたいなものがありました。不具合があれば状況判断をして最善の方法を模索し、自ら改善していった実績とプライドがありました。一方、委託では、利益をあげなければならぬ組織ですから、2億8千万円という多額の請負金額にもかかわらず運転管理仕様書

に記載されたこと以外は実施しないことです。そのため、仕様書に記載されなかった業務については、屋上屋を重ねるよう別委託がされ、余計な費用が高んでいるのが実態です。しかも、この1年半の間では大惨事や炉停止におよぶ事故が起きていない。事態が頻発していません。炉立上げ時のマニュアルからの逸脱、インターロックの見落としによる故障の発生、点検時の危険予知の見逃しなど枚挙にいとまがありません。直営では、その都度、臨機応変に対応し、事故の未然防止を実践してきたのです。



北工場支部 青木代表

活動予定と日程

- 11月6日 一組総支部 執行委員会
- 11日 課長交渉
- 13日 一組総支部 常任委員会
- 27日 一組総支部 支部代表者会議 常任委員会
- 賃金確定闘争、集会参加
- 野球大会決勝戦の実施、組織対策、異動問題、安全衛生課題、労働災害対策 廃プラ、委託検証、署名行動 組織問題等